

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

OP 1066

JC714 U.S. PTO

09/737192



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

願年月日
Date of Application:

1999年12月24日

願番号
Application Number:

平成11年特許願第367567号

願人
Applicant(s):

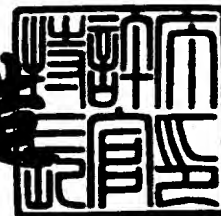
富士通株式会社
富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 8月25日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of : Kazutaka SASAGAWA et al.

Filed : Concurrently herewith

For : IP COMMUNICATION NETWORK SYSTEM

Serial No. : Concurrently herewith

December 14, 2000

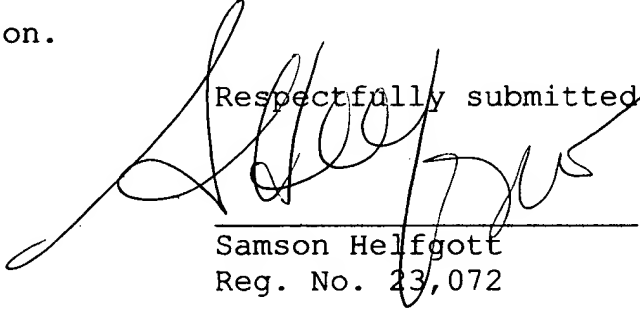
Assistant Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

S I R:

Attached herewith are Japanese patent application No.
11-367567 of December 24, 1999 whose priority has been claimed
in the present application.

Respectfully submitted



Samson Helfgott
Reg. No. 23,072

HELFGOTT & KARAS, P.C.
60th FLOOR
EMPIRE STATE BUILDING
NEW YORK, NY 10118
DOCKET NO.: FUJY18.090
LHH:priority

Filed Via Express Mail

Rec. No.: EL522397401US

On: December 14, 2000

By: Lydia Gonzalez

Any fee due as a result of this paper,
not covered by an enclosed check may be
charged on Deposit Acct. No. 08-1634.



3/5-

【書類名】 特許願

【整理番号】 9902756

【提出日】 平成11年12月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/28

【発明の名称】 I P 通信インタフェース装置、回線交換機及び I P 通信ネットワークシステム

【請求項の数】 20

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿六丁目 1 2 番 1 号富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社内

 【氏名】 笹川 和孝

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿六丁目 1 2 番 1 号富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社内

 【氏名】 上原 毅

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿六丁目 1 2 番 1 号富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社内

 【氏名】 高橋 泰司

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿六丁目 1 2 番 1 号富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社内

 【氏名】 今橋 亮

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【特許出願人】

 【識別番号】 391010208

【氏名又は名称】 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
【代理人】
【識別番号】 100089244
【弁理士】
【氏名又は名称】 遠山 勉
【選任した代理人】
【識別番号】 100090516
【弁理士】
【氏名又は名称】 松倉 秀実
【連絡先】 0 3 - 3 6 6 9 - 6 5 7 1
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 012092
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9705606
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 I P 通信インタフェース装置、回線交換機及び I P 通信ネットワークシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 回線交換網と I P パケット交換網に接続される L A N との間に配置することを可能にする第 1 及び第 2 の接続手段と；

前記回線交換網から前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記 L A N から前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記回線交換網に送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

を備える I P 通信インタフェース装置。

【請求項 2】 前記第 1 及び第 2 のメディア対応情報は、音声通信機能を有する音声端末から送信される音声情報、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末から送信されるファクシミリ情報、及びデータ通信機能を有するデータ端末から送信されるデータ情報を含む請求項 1 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 3】 前記第 1 の処理手段及び第 2 の処理手段は、前記第 1 及び第 2 のメディア対応情報に相当する音声情報、ファクシミリ情報、及びデータ情報毎にそれぞれ機能分割され；

機能分割された前記第 1 の処理手段を前記第 3 の処理手段からの指令により選択する選択手段を更に備える請求項 2 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 4】 前記第 2 の処理手段は、前記第 1 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするための R T P ヘッダを付加した前記パケット組立メディア対応情報を生成する請求項 2 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 5】 前記第 2 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするために付加されている前記 R T P ヘッダを除去した前記パケット分解メディア対応情報を生成する請求項 4 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 6】 前記第 3 の処理手段は、前記第 2 の処理手段で生成された前記パケット組立メディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として U D P ヘッダ及び I P ヘッダを付加し、前記パケット組立メディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として T C P ヘッダ及び I P ヘッダを付加する請求項 2 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 7】 前記第 3 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 U D P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去し、前記第 2 のメディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 T C P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去する請求項 6 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 8】 前記第 3 の処理手段は、D チャンネル情報としての呼制御信号を特定プロトコルのメッセージに基づいて識別し、T C P ヘッダ及び I P ヘッダの付加及び除去処理を施すだけでペネトレートに送受信する請求項 1 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 9】 前記第 1 及び第 2 の接続手段と前記第 1、第 2 及び第 3 の処理手段とをパッケージカードに配置して構成した請求項 1 記載の I P 通信インタフェース装置。

【請求項 1 0】 音声通信機能を有する音声端末、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末、及びデータ通信機能を有するデータ端末の少なくとも 1 つを収容し、メディア対応情報を伝送する時分割多重伝送路を有するハイウェイスイッチと；

前記ハイウェイスイッチに直接的に接続された第 1 の接続手段と；

I P パケット交換網に接続される L A N 回線を収容する第 2 の接続手段と；

前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記ハイウェイスイッチに送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N 回線に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

を備える回線交換機。

【請求項 1 1】 前記第 1 及び第 2 のメディア対応情報は、音声通信機能を有する音声端末から送信される音声情報、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末から送信されるファクシミリ情報、及びデータ通信機能を有するデータ端末から送信されるデータ情報を含む請求項 1 0 記載の回線交換機。

【請求項 1 2】 前記第 1 の処理手段及び第 2 の処理手段は、前記第 1 及び第 2 のメディア対応情報に相当する音声情報、ファクシミリ情報、及びデータ情報毎にそれぞれ機能分割され；

機能分割された前記第 1 の処理手段を前記第 3 の処理手段からの指令により選択する選択手段を更に備える請求項 1 1 記載の回線交換機。

【請求項 1 3】 前記第 2 の処理手段は、前記第 1 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするための R T P ヘッダを付加した前記パケット組立メディア対応情報を生成する請求項 1 1 記載の回線交換機。

【請求項 1 4】 前記第 2 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするために付加されている前記 R T P ヘッダを除去した前記パケット分解メディア対応情報を生成する請求項 1 3 記載の回線交換機。

【請求項 1 5】 前記第 3 の処理手段は、前記第 2 の処理手段で生成された前記パケット組立メディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として U D P ヘッダ及び I P ヘッダを付加し、前記パケット組立メディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として T C P ヘッダ及び I P ヘッダを付加する請求項 1 1 記載の回線交換機。

【請求項 1 6】 前記第 3 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 U D P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去し、前記第 2 のメディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 T C P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去する請求項 1 5 記載の回線交換機。

【請求項 1 7】 前記第 3 の処理手段は、D チャンネル情報としての呼制御信号を特定プロトコルのメッセージに基づいて識別し、T C P ヘッダ及び I P ヘッダの付加及び除去処理を施すだけでペネトレートに送受信する請求項 1 0 記載の回線交換機。

【請求項 1 8】 前記第 1 及び第 2 の接続手段と前記第 1、第 2 及び第 3 の処理手段とをパッケージカードに配置して構成した請求項 1 0 記載の回線交換機。

【請求項 1 9】 音声通信機能を有する音声端末、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末、及びデータ通信機能を有するデータ端末の少なくとも 1 つを收容し、メディア対応情報を伝送する時分割多重伝送路を有するハイウェイスイッチと；

前記ハイウェイスイッチに直接的に接続された第 1 の接続手段と；

I P パケット交換網に接続される L A N 回線を収容する第 2 の接続手段と；

前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記ハイウェイスイッチに送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N 回線に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

から構成される回線交換機を含む I P 通信ネットワークシステム。

【請求項 2 0】 回線交換網と I P パケット交換網に接続される L A N との間に配置することを可能にする第 1 及び第 2 の接続手段と；

前記回線交換網から前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記 L A N から前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記回線交換網に送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段

に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

から構成される I P 通信インタフェース装置を含む I P 通信ネットワークシステム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は電話網などの回線交換網とインターネット網またはイントラネット網などの I P（インターネットプロトコル）パケット交換網とを統合することにより、設備及び運用などのコストを削減できる複合交換網システム（I P 通信ネットワークシステム）に関し、特にこの I P 通信ネットワークシステムの構築を容易にするための I P 通信インタフェース装置及び回線交換機に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、ローカルエリアネットワーク（L A N）の広帯域化等をはじめとするネットワーク技術の進歩と、パーソナルコンピュータ（P C）の多機能化及び P C に適用する C P U の高速化等をはじめとする P C 技術の進歩とにともない、複数の L A N 上の P C 間で音声情報を高速に通信することが実用的にも可能になってきた。

【 0 0 0 3 】

これらの技術進歩により、従来の電話による音声の通信を専用線、L A N 及びワイドエリアネットワーク（W A N）などから構成されるインターネット網（この明細書では、特に限定していないときは、イントラネット網を含む）上の P C 間で実行するアプリケーションソフトウェアと、このソフトウェアを組み込んだハードウェアシステムとが急速に市場に投入されている。このシステムは、「インターネットテレフォニー」と称される。

【 0 0 0 4 】

インターネットテレフォニーと称される I P 通信ネットワークシステムにおいては、音声通信とデータ通信とを統合するために、V o I P（Voice over Inter

net Protocol) 技術を使用する。この V o I P 技術はインターネットで使用されているネットワーク層のプロトコル、つまり I P を持つネットワーク (I P ネットワーク) 上で、音声を短い時間 (例えば、2 0 m s e c 程度) 毎にフレームとし、I P ヘッダを付けてパケットとして送受信するものである。

【0 0 0 5】

また、電話網とインターネット網との間で通信プロトコル変換を行うゲートウェイ機能を有し、電話網とインターネット網との相互間での通信を実現するインタフェース装置の開発が推進されている。

【0 0 0 6】

一般に、従来の電話網による電話通話 (音声通信) に比較して、インターネット網を経由した電話通話の方が低コストに運用できることから、I P 通信ネットワークシステムとサービスは、急速に普及しつつある。

【0 0 0 7】

しかし、この I P 通信ネットワークシステムでの伝送 (転送) 標準は未だ確立されていない。現状あるのはインターネット網内のサービスを定義した I T U - T 勧告 H. 4 5 0. 2 (H. 3 2 3) と従来の電話網のサービスのみである。

【0 0 0 8】

このような通信インフラの多様化・拡大に伴い、ユーザは目的に応じて最適な通信インフラを使い分けている状況がある。この状況の中、インターネット網を企業内の通信ネットワークシステムに取り込み、データ通信だけでなく音声通信にも活用し、より経済的な企業内通信ネットワークシステムを構築することが必要不可欠になっている。

【0 0 0 9】

【発明が解決しようとする課題】

したがって、本発明の課題は、電話網 (回線交換網) とインターネット網 (I P パケット交換網) との間で通信プロトコル変換を行うゲートウェイ機能を有し、電話網とインターネット網との相互間での音声通信及びデータ通信などの各種通信を実現する I P 通信インタフェース装置を提供することにある。

【0 0 1 0】

また、本発明の課題は、電話網とインターネット網との相互間での各種通信を実現するために既存の電話網、特に企業内電話網に容易に導入することが可能なIP通信インタフェース装置を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明のIP通信インタフェース装置は、回線交換網とIPパケット交換網に接続されるLANとの間に配置することを可能にする第1及び第2の接続手段と；

前記回線交換網から前記第1の接続手段に入力されるBチャネル情報としての第1のメディア対応情報を符号化するとともに、前記LANから前記第2の接続手段に入力される第2のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第1のメディア対応情報として前記回線交換網に送出するために前記第1の接続手段に送信する第1の処理手段と；

前記第1の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第2のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第1の処理手段に送信する第2の処理手段と；

前記第2の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第2のメディア対応情報を生成し、前記第2の接続手段を通して前記LANに送出させるとともに、前記第2の接続手段に入力された前記第2のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第2の処理手段に送信する第3の処理手段とを備える。

【0012】

この構成において、前記第1及び第2のメディア対応情報は、音声通信機能を有する音声端末から送信される音声情報、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末から送信されるファクシミリ情報、及びデータ通信機能を有するデータ端末から送信されるデータ情報を含む。

【0013】

また、前記第1の処理手段及び第2の処理手段は、前記第1及び第2のメディア

ア対応情報に相当する音声情報、ファクシミリ情報、及びデータ情報毎にそれぞれ機能分割され；

機能分割された前記第 1 の処理手段を前記第 3 の処理手段からの指令により選択する選択手段を更に備える。

【 0 0 1 4 】

前記第 2 の処理手段は、前記第 1 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするための R T P ヘッダを付加した前記パケット組立メディア対応情報を生成する。

【 0 0 1 5 】

前記第 2 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、リアルタイムな伝送を可能にするために付加されている前記 R T P ヘッダを除去した前記パケット分解メディア対応情報を生成する。

【 0 0 1 6 】

前記第 3 の処理手段は、前記第 2 の処理手段で生成された前記パケット組立メディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として U D P ヘッダ及び I P ヘッダを付加し、前記パケット組立メディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として T C P ヘッダ及び I P ヘッダを付加する。

【 0 0 1 7 】

前記第 3 の処理手段は、前記第 2 のメディア対応情報が前記音声情報または前記ファクシミリ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 U D P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去し、前記第 2 のメディア対応情報が前記データ情報であるときは、前記ヘッダ情報として付加されている前記 T C P ヘッダ及び前記 I P ヘッダを除去する。

【 0 0 1 8 】

前記第 3 の処理手段は、 D チャンネル情報としての呼制御信号を特定プロトコルのメッセージに基づいて識別し、 T C P ヘッダ及び I P ヘッダの付加及び除去処理を施すだけでペネトレートに送受信する。

【 0 0 1 9 】

前記第 1 及び第 2 の接続手段と前記第 1、第 2 及び第 3 の処理手段とをパッケージカードに配置して構成することができる。

本発明の回線交換機は、音声通信機能を有する音声端末、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末、及びデータ通信機能を有するデータ端末の少なくとも 1 つを収容し、メディア対応情報を伝送する時分割多重伝送路を有するハイウェイスイッチと；

前記ハイウェイスイッチに直接的に接続された第 1 の接続手段と；

I P パケット交換網に接続される L A N 回線を収容する第 2 の接続手段と；

前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記ハイウェイスイッチに送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N 回線に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段とを備える。

【 0 0 2 0 】

本発明の I P 通信ネットワークシステムは、音声通信機能を有する音声端末、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ端末、及びデータ通信機能を有するデータ端末の少なくとも 1 つを収容し、メディア対応情報を伝送する時分割多重伝送路を有するハイウェイスイッチと；

前記ハイウェイスイッチに直接的に接続された第 1 の接続手段と；

I P パケット交換網に接続される L A N 回線を収容する第 2 の接続手段と；

前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記ハイウェイスイッチに送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 LAN 回線に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

から構成される回線交換機を含む。

【 0 0 2 1 】

また、本発明の IP 通信ネットワークシステムは、回線交換網と IP パケット交換網に接続される LAN との間に配置することを可能にする第 1 及び第 2 の接続手段と；

前記回線交換網から前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、前記 LAN から前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記回線交換網に送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段と；

前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段と；

前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記

第 2 の接続手段を通して前記 LAN に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段と；

から構成される IP 通信インタフェース装置を含む。

【 0 0 2 2 】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

〔IP 通信ネットワークシステムの構成〕

本発明の一実施の形態における IP 通信ネットワークシステムの構成を示す図 1 を参照すると、回線交換網 (Switched Circuit Network) としての電話網を構成する構内交換機 (PBX) 1, 2 は複数の通信端末装置 (以下、単に端末と称することもある) 3, 4 をそれぞれ収容する。これらの端末 3, 4 は音声通信機能を有する電話端末、ファクシミリ通信機能を有するファクシミリ (FAX) 端末、またはデータ通信機能を有するパーソナルコンピュータ (PC) などのデータ端末である。なお、PBX 1, 2 は一般の PBX に相当する主装置であってもよい。また、PBX 1, 2 は ISDN 中継線を通して公衆交換網に接続されるが、ここでは図示を省略している。

【 0 0 2 3 】

IP 通信インタフェース装置 5, 6 は PBX 1, 2 をローカルエリアネットワーク (LAN) 7, 8 にそれぞれ接続する。IP 通信インタフェース装置 5, 6 については、後に詳述するが、パッケージカード化されて PBX 1, 2 と同一筐体内に設けることができる。IP 通信インタフェース装置 5, 6 には、それぞれ固有の IP アドレスが割り当てられている。

【 0 0 2 4 】

LAN 7, 8 には、IP 通信インタフェース装置 5, 6 の他に、データ通信機能を有する PC などのデータ端末 (図示省略) 及び中継装置としてのルータ 9, 10 がそれぞれ接続されている。LAN 7, 8 は IEEE 802.3 LAN のうちの安価で簡単に構築できる 10BASE-T (幹線伝送速度 10Mbps、ベースバンド変調方式、伝送媒体・ツイストペアケーブル) または 100BASE

ーTXなどのスター型の網形態を採るもので構成するが、バス型などの他の網形態で構成してもよい。

【0025】

IPパケット交換網（IPネットワーク）としてのインターネット網11はルータ9、10に接続される。このインターネット網11は、IPパケット交換網が会社内などの内部網であるときは厳密にはイントラネット網と称されるが、ここでは特に区別しない。また、インターネット網11は専用線、ISDN、LAN及びWANなどから構成される。このような構成にてIP通信ネットワークシステムが構築できる。

【0026】

〔構内交換機及びIP通信インタフェース装置の第1の構成例及び動作〕

（構内交換機）

図1に示すIP通信ネットワークシステムにおけるPBX1、2としての第1のPBX20は、図2に示すように、音声端末（加入者）制御部21と、ハイウェイスイッチ22と、トランク制御部23と、中央制御部24とを備える。

【0027】

音声端末制御部21は通信端末装置3、4として音声通信機能を有する音声端末（電話機）31を加入者回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ22に接続されている。音声端末制御部21は、音声端末31に関する発呼・応答・切断検出の制御、ダイヤル受信の制御、及び呼出信号の制御などと、音声端末31が着信側になった場合の着信関連制御とを行う。

【0028】

ハイウェイスイッチ22は「 $nB+D$ 」（ $n=1\sim31$ ）チャンネルの時分割多重伝送路（ハイウェイ：HW）から構成され、例えば、 $2Mbps$ （ $64Kbps \times 32$ タイムスロットTS）の容量を有する。トランク制御部23は公衆交換網に接続されるBRI（Basic Rate Interface：伝送速度 $192Kbps$ の基本インタフェース）またはPRI（Primary Rate Interface：伝送速度 $1.544/2.048Mbps$ の一次群速度インタフェース）のISDN中継線を収容し、Bチャンネルの音声情報（Bch情報）及びDチャンネルの制御情報（Dch情報）

）の送受信を行う。また、このトランク制御部 2 3 はハイウェイスイッチ 2 2 に直接的に接続されている。

【 0 0 2 9 】

中央制御部 2 4 は音声端末制御部 2 1，ハイウェイスイッチ 2 2，及びトランク制御部 2 3 をそれぞれ制御して回線交換を行う。また、中央制御部 2 4 は保守運用インタフェース部（図示省略）を通して局データの設定、解除、及び出力を行う。

【 0 0 3 0 】

（ I P 通信インタフェース装置）

次に、図 1 に示す I P 通信ネットワークシステムにおける I P 通信インタフェース装置 5，6 としての第 1 の I P 通信インタフェース装置 4 0 は、図 2 に示すように、制御部 5 0 と、コーデック部 6 0 とを備える。制御部 5 0 及びコーデック部 6 0 はそれぞれ個別のパッケージカードまたは一枚のパッケージカードで構成され、上記 P B X 2 0 と同一筐体に I P 通信インタフェース装置 4 0 として収納される。制御部 5 0 及びコーデック部 6 0 を一枚のパッケージカードに実装して、I P 通信インタフェース装置 4 0 を構成した配置図を図 3 に示す。

【 0 0 3 1 】

制御部 5 0 はハイウェイスイッチインタフェース部（以下、H W - I F と称することもある）5 1 と、L A N インタフェース部（以下、L A N - I F と称することもある）5 2 と、C P U （Central Processor Unit）内配置の信号処理部 5 3 と、内部バス 5 4 とから構成されている。この制御部 5 0 は L A N 回線を介してインターネット回線とのメディアに応じたパケット、この例では音声パケットの送受信を行う。また、制御部 5 0 は P B X 2 0 のハイウェイスイッチ 2 2 及び L A N 7，8 と接続され、コーデック部 6 0 を制御して、メディアに応じた、この例では音声情報のパケット組立及びパケット分解を行わせる。

【 0 0 3 2 】

H W - I F 5 1 はハイウェイスイッチ 2 2 のハイウェイに直接結合され、このハイウェイ（例えば、伝送速度 2 M b p s）から 6 4 K b p s の回線情報を取り出したり、6 4 K b p s の回線情報をハイウェイスイッチ 2 2 のハイウェイに挿

入する。LAN-IF 52はLAN 7, 8に接続され、LANの形態、この例では10BASE-Tまたは100BASE-TXのLAN回線の電気・物理インタフェースの制御を行う。信号処理部 53はPBX 20の回線交換網側のコネクション型通信とインターネット網側のコネクションレス型通信との呼の確立及び終了の呼制御信号の処理を行う。

【0033】

また、上記制御部 50に接続されたコーデック部 60はドロップ・インサータ（以下、TS-CNTLと称することもある）61と、デュアルポートメモリ（以下、DPRAMと称することもある）62と、デジタル信号プロセッサ（DSP）から構成され符号化・復号化機能を有する第1の処理部 63と、CPU内に配置されてパケット組立・パケット分解機能を有する第2の処理部 64と、内部バス 65とから構成されている。このコーデック部 60はメディアに応じた、この例では音声情報のパケット組立及びパケット分解を行う。

【0034】

TS-CNTL 61は制御部 50とコーデック部 60との間の内部伝送路の64Kbpsのタイムスロットからの情報の取り出し、同タイムスロットへの情報の挿入を行う。DPRAM 62は制御部 50の信号処理部 53とコーデック部 60の第2の処理部 64との内部通信を可能にする。

【0035】

第1の処理部 63はTS-CNTL 61においてタイムスロットから取り出された音声情報の連続信号をインターネット回線への音声パケットの離散信号に符号化処理する。また、第1の処理部 63はインターネット回線からの音声パケットを音声情報の連続信号に復号化処理し、TS-CNTL 61における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。

【0036】

第2の処理部 64は第1の処理部 63を制御し、リアルタイムな伝送を可能にするためのRTP（Real Time Transport Protocol）の付加などを含むパケット組立及びRTPの除去などを含むパケット分解処理を行う。なお、コーデック部 60はIP通信インタフェース装置 40からLAN 7, 8への出力チャネル数

の増大に応じて、増設することができる。

【0037】

上述したIP通信インタフェース装置40は、HW-IF51を通してハイウェイスイッチ22のハイウェイに直接結合されているので、PBX20からはISDN中継線に収容した「トランク装置」として扱うことができる。

【0038】

(動作)

上述した構成を採る第1のIP通信インタフェース装置40において、音声情報(Bch情報)は、PBX20のハイウェイスイッチ22から制御部50のHW-IF51を経由して、コーデック部60のTS-CNTL61に入力される。

【0039】

TS-CNTL61に入力された音声情報は、第1の処理部63において、符号化されるとともに、ITU-T G.729 Annex A/Bに準拠して音声圧縮及び無音圧縮が施される。圧縮処理の施された符号化音声情報は、第1の処理部63から内部バス65を通して第2の処理部64に送信される。第2の処理部64は符号化音声情報にRTPを付加して、音声パケットを構成する。この音声パケットはDPRAM62及び内部バス54を通して制御部50の信号処理部53に転送される。

【0040】

信号処理部53はコーデック部60から受信した音声パケットにUDP(User Datagram Protocol)ヘッダ及びIP(Internet Protocol)ヘッダを付加した音声パケットを構成し、LAN-IF52を通してLAN7, 8に接続されているLAN回線に送出する。LAN回線及びインターネット回線上の音声パケットのフレーム構成を図4(A)に示す。

【0041】

また、TTC標準JT-Q.931メッセージに対応する呼制御信号などの制御情報(Dch情報)は、PBX20のハイウェイスイッチ22から制御部50のHW-IF51及び内部バス54を経由して、信号処理部53に入力される。

【0042】

信号処理部 53 は受信した制御情報に TCP (Transmission Control Protocol) ヘッダ及び IP ヘッダを付加して、図 4 (D) に示すフレーム構成の制御情報パケットを形成する。この制御情報パケットは LAN-IF 52 を通して LAN 7, 8 に接続されている LAN 回線に送出される。

【0043】

一方、LAN 回線から IP 通信インタフェース装置 40 に音声パケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、Bch の音声情報として、PBX 20 のハイウェイスイッチ 22 に送信される。

【0044】

また、LAN 回線から IP 通信インタフェース装置 40 に制御情報パケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解が行われ、Dch の制御情報として、PBX 20 のハイウェイスイッチ 22 に送信される。つまり、制御情報については、IP 通信インタフェース装置 40 は PBX 20 と LAN 7, 8 との間でトランスペアレントな送受信を行っている。

【0045】

〔構内交換機及び IP 通信インタフェース装置の第 2 の構成例及び動作〕

(構内交換機)

図 1 に示す IP 通信ネットワークシステムにおける PBX 1, 2 としての第 2 の PBX 20 は、図 5 に示すように、ファクシミリ (FAX) 端末制御部 25 と、ハイウェイスイッチ 22 と、トランク制御部 23 と、中央制御部 24 とを備える。

【0046】

FAX 端末制御部 25 は通信端末装置 3, 4 としてファクシミリ通信機能を有するファクシミリ (FAX) 端末 32 を FAX 回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ 22 に接続されている。FAX 端末制御部 25 は FAX 端末 32 に関する送信・受信・切断制御を行う。

【0047】

ハイウェイスイッチ 22 は「 $nB + D$ 」($n = 1 \sim 31$) チャンネルの時分割多

重伝送路（ハイウェイ：HW）から構成され、例えば、2Mbps（64Kbps×32タイムスロットTS）の容量を有する。トランク制御部23は公衆交換網に接続されるBRIまたはPRIのISDN中継線を収容し、BチャネルのFAX情報（Bch情報）及びDチャネルの制御情報（Dch情報）の送受信を行う。また、このトランク制御部23はハイウェイスイッチ22に直接的に接続されている。

【0048】

中央制御部24はFAX端末制御部25、ハイウェイスイッチ22、及びトランク制御部23をそれぞれ制御して回線交換を行う。また、中央制御部24は保守運用インタフェース部（図示省略）を通して局データの設定、解除、及び出力を行う。

【0049】

（IP通信インタフェース装置）

次に、図1に示すIP通信ネットワークシステムにおけるIP通信インタフェース装置5、6としての第2のIP通信インタフェース装置40は、図5に示すように、制御部50と、コーデック部70とを備える。制御部50及びコーデック部70はそれぞれ個別のパッケージカードまたは一枚のパッケージカードで構成され、上記PBX20と同一筐体にIP通信インタフェース装置40として収納される。制御部50及びコーデック部70を一枚のパッケージカードに実装して、IP通信インタフェース装置40を構成した配置は図3と同一である。

【0050】

制御部50はハイウェイスイッチインタフェース部（HW-IF）51と、LANインタフェース部（LAN-IF）52と、CPU内配置の信号処理部53と、内部バス54とから構成されている。この制御部50はLAN回線を介してインターネット回線とのメディアに応じたパケット、この例ではFAXパケットの送受信を行う。また、制御部50はPBX20のハイウェイスイッチ22及びLAN7、8と接続され、コーデック部70を制御して、メディアに応じた、この例ではFAX情報のパケット組立及びパケット分解を行わせる。

【0051】

HW-IF51はハイウェイスイッチ22のハイウェイに直接結合され、このハイウェイ（例えば、伝送速度2Mbps）から64Kbpsの回線情報を取り出したり、64Kbpsの回線情報をハイウェイスイッチ22のハイウェイに挿入する。LAN-IF52はLAN7、8に接続され、LANの形態、この例では10BASE-Tまたは100BASE-TXのLAN回線の電気・物理インタフェースの制御を行う。信号処理部53はPBX20の回線交換網側のコネクション型通信とインターネット網側のコネクションレス型通信との呼の確立及び終了の呼制御信号の処理を行う。

【0052】

また、上記制御部50に接続されたコーデック部70はドロップ・インサータ(TS-CNTL)71と、デュアルポートメモリ(DPRAM)72と、デジタル信号プロセッサ(DSP)から構成され符号化・復号化機能を有する第1の処理部73と、CPU内に配置されてパケット組立・パケット分解機能を有する第2の処理部74と、内部バス75とから構成されている。このコーデック部70はメディアに応じた、この例ではFAX情報のパケット組立及びパケット分解を行う。

【0053】

TS-CNTL71は制御部50とコーデック部70との間の内部伝送路の64Kbpsのタイムスロットからの情報の取り出し、同タイムスロットへの情報の挿入を行う。DPRAM72は制御部50の信号処理部53とコーデック部70の第2の処理部74との内部通信を可能にする。

【0054】

第1の処理部73はTS-CNTL71においてタイムスロットから取り出されたFAX情報の連続信号をインターネット回線へのFAXパケットの離散信号に符号化処理する。また、第1の処理部73はインターネット回線からのFAXパケットをFAX情報の連続信号に復号化処理し、TS-CNTL71における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。

【0055】

第2の処理部74は第1の処理部73を制御し、リアルタイムな伝送を可能にするためのRTPの付加などを含むパケット組立及びRTPの除去などを含むパケット分解処理を行う。なお、コーデック部70はIP通信インタフェース装置40からLAN7, 8への出力チャンネル数の増大に応じて、増設することができる。

【0056】

上述した第2のIP通信インタフェース装置40は、HW-IF51を通してハイウェイスイッチ22のハイウェイに直接結合されているので、PBX20からはISDN中継線に収容した「トランク装置」として扱うことができる。

【0057】

(動作)

上述した構成を採る第2のIP通信インタフェース装置40において、伝送速度G3のFAX情報(Bch情報)は、PBX20のハイウェイスイッチ22から制御部50のHW-IF51を経由して、コーデック部70のTS-CNTL71に入力される。

【0058】

TS-CNTL71に入力されたFAX情報は、FAX端末間信号を自動検出した第1の処理部73において、FRF.11のFax Relay方式に従って符号化される。符号化FAX情報は、第1の処理部73から内部バス75を通して第2の処理部74に送信される。第2の処理部74は符号化FAX情報にRTPを付加して、FAXパケットを構成する。このFAXパケットはDPRAM72及び内部バス54を通して制御部50の信号処理部53に転送される。

【0059】

信号処理部53はコーデック部70から受信したFAXパケットにUDPヘッダ及びIPヘッダを付加したFAXパケットを構成し、LAN-IF52を通してLAN7, 8に接続されているLAN回線に送出する。LAN回線及びインターネット回線上のFAXパケットのフレーム構成を図4(B)に示す。

【0060】

一方、LAN回線からIP通信インタフェース装置40にFAXパケットが入

力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、B c hのF A X情報として、P B X 2 0のハイウェイスイッチ 2 2に送信される。

【0 0 6 1】

なお、このI P通信インタフェース装置 4 0におけるT T C標準J T - Q. 9 3 1メッセージに対応する呼制御信号などの制御情報（D c h情報）の送受信処理は、上述した第1のI P通信インタフェース装置 4 0と同一である。

【0 0 6 2】

〔構内交換機及びI P通信インタフェース装置の第3の構成例及び動作〕

（構内交換機）

図1に示すI P通信ネットワークシステムにおけるP B X 1, 2としての第3のP B X 2 0は、図6に示すように、データ端末制御部 2 6と、ハイウェイスイッチ 2 2と、トランク制御部 2 3と、中央制御部 2 4とを備える。

【0 0 6 3】

データ端末制御部 2 6は通信端末装置 3, 4としてデータ通信機能を有するP Cなどのデータ端末 3 3をデータ回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ 2 2に接続されている。データ端末制御部 2 6はデータ端末 3 3に関する送信・受信制御を行う。

【0 0 6 4】

ハイウェイスイッチ 2 2は「 $nB + D$ 」（ $n = 1 \sim 31$ ）チャネルの時分割多重伝送路（ハイウェイ：HW）から構成され、例えば、 2Mbps （ $64\text{Kbps} \times 32$ タイムスロットTS）の容量を有する。トランク制御部 2 3は公衆交換網に接続されるB R IまたはP R IのI S D N中継線を収容し、Bチャネルの 64Kbps 非制限デジタルデータ（B c h情報）及びDチャネルの制御情報（D c h情報）の送受信を行う。また、このトランク制御部 2 3はハイウェイスイッチ 2 2に直接的に接続されている。

【0 0 6 5】

中央制御部 2 4はデータ端末制御部 2 6、ハイウェイスイッチ 2 2、及びトランク制御部 2 3をそれぞれ制御して回線交換を行う。また、中央制御部 2 4は保

守運用インタフェース部（図示省略）を通して局データの設定、解除、及び出力を行う。

【0066】

（IP通信インタフェース装置）

次に、図1に示すIP通信ネットワークシステムにおけるIP通信インタフェース装置5、6としての第3のIP通信インタフェース装置40は、図6に示すように、制御部50と、コーディック部80とを備える。制御部50及びコーディック部80はそれぞれ個別のパッケージカードまたは一枚のパッケージカードで構成され、上記PBX20と同一筐体にIP通信インタフェース装置40として収納される。制御部50及びコーディック部80を一枚のパッケージカードに実装して、IP通信インタフェース装置40を構成した配置は図3と同一である。

【0067】

制御部50はハイウェイスイッチインタフェース部（HW-IF）51と、LANインタフェース部（LAN-IF）52と、CPU内配置の信号処理部53と、内部バス54とから構成されている。この制御部50はLAN回線を介してインターネット回線とのメディアに応じたパケット、この例ではデータパケットの送受信を行う。また、制御部50はPBX20のハイウェイスイッチ22及びLAN7、8と接続され、コーディック部80を制御して、メディアに応じた、この例ではデータのパケット組立及びパケット分解を行わせる。

【0068】

HW-IF51はハイウェイスイッチ22のハイウェイに直接結合され、このハイウェイ（例えば、伝送速度2Mbps）から64Kbpsの回線情報を取り出したり、64Kbpsの回線情報をハイウェイスイッチ22のハイウェイに挿入する。LAN-IF52はLAN7、8に接続され、LANの形態、この例では10BASE-Tまたは100BASE-TXのLAN回線の電気・物理インタフェースの制御を行う。信号処理部53はPBX20の回線交換網側のコネクション型通信とインターネット網側のコネクションレス型通信との呼の確立及び終了の呼制御信号の処理を行う。

【 0 0 6 9 】

また、上記制御部 5 0 に接続されたコーデック部 8 0 はドロップ・インサータ (TS-CNTL) 8 1 と、デュアルポートメモリ (DPRAM) 8 2 と、デジタル信号プロセッサ (DSP) から構成され符号化・復号化機能を有する第 1 の処理部 8 3 と、CPU 内に配置されてパケット組立・パケット分解機能を有する第 2 の処理部 8 4 と、内部バス 8 5 とから構成されている。このコーデック部 8 0 はメディアに応じた、この例ではデータのパケット組立及びパケット分解を行う。

【 0 0 7 0 】

TS-CNTL 8 1 は制御部 5 0 とコーデック部 8 0 との間の内部伝送路の 6 4 K b p s のタイムスロットからの情報の取り出し、同タイムスロットへの情報の挿入を行う。DPRAM 8 2 は制御部 5 0 の信号処理部 5 3 とコーデック部 8 0 の後述する第 2 の処理部 8 4 との内部通信を可能にする。

【 0 0 7 1 】

第 1 の処理部 8 3 は TS-CNTL 8 1 においてタイムスロットから取り出されたデータの連続信号をインターネット回線へのデータパケットの離散信号に符号化処理する。また、第 1 の処理部 8 3 はインターネット回線からのデータパケットをデータの連続信号に復号化処理し、TS-CNTL 8 1 における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。なお、データについては、第 1 の処理部 8 3 でのデータ圧縮・伸張を行わないで、スルーさせるだけの処理を採用することもできる。

【 0 0 7 2 】

第 2 の処理部 8 4 は第 1 の処理部 8 3 を制御し、パケット組立及びパケット分解処理を行う。なお、コーデック部 8 0 は IP 通信インタフェース装置 4 0 から LAN 7, 8 への出力チャネル数の増大に応じて、増設することができる。

【 0 0 7 3 】

上述した第 3 の IP 通信インタフェース装置 4 0 は、HW-IF 5 1 を通してハイウェイスイッチ 2 2 のハイウェイに直接結合されているので、PBX 2 0 からは ISDN 中継線に収容した「トランク装置」として扱うことができる。

【0074】

(動作)

上述した構成を採る第3のIP通信インタフェース装置40において、伝送速度G3のFAX情報以外の64Kbps非制限デジタルデータ(Bch情報)は、PBX20のハイウェイスイッチ22から制御部50のHW-IF51を経由して、コーディック部80のTS-CNTL81に入力される。

【0075】

TS-CNTL81に入力されたデータは、第1の処理部83において、必要に応じて符号化される。符号化データは、第1の処理部83から内部バス85を通して第2の処理部84に送信される。第2の処理部84は符号化データに基づいて、データパケットを構成する。このデータパケットはDPRAM82及び内部バス54を通して制御部50の信号処理部53に転送される。

【0076】

信号処理部53はコーディック部80から受信したデータパケットにTCPヘッダ及びIPヘッダを付加したデータパケットを構成し、LAN-IF52を通してLAN7, 8に接続されているLAN回線に送出する。LAN回線及びインターネット回線上のデータパケットのフレーム構成を図4(C)に示す。

【0077】

一方、LAN回線からIP通信インタフェース装置40にデータパケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、Bchのデータとして、PBX20のハイウェイスイッチ22に送信される。

【0078】

なお、このIP通信インタフェース装置40におけるTTC標準JT-Q. 931メッセージに対応する呼制御信号などの制御情報(Dch情報)の送受信処理は、上述した第1のIP通信インタフェース装置40と同一である。

【0079】

〔構内交換機及びIP通信インタフェース装置の第4の構成例及び動作〕

(構内交換機)

図1に示すIP通信ネットワークシステムにおけるPBX1, 2としての第4

のPBX20は、図7に示すように、音声端末（加入者）制御部21、ファクシミリ（FAX）端末制御部25と、データ端末制御部26と、ハイウェイスイッチ22と、トランク制御部23と、中央制御部24とを備える。

【0080】

音声端末制御部21は通信端末装置3、4として音声通信機能を有する音声端末（電話機）31を加入者回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ22に接続されている。音声端末制御部21は、音声端末31に関する発呼・応答・切断検出の制御、ダイヤル受信の制御、及び呼出信号の制御などと、音声端末31が着信側になった場合の着信関連制御とを行う。

【0081】

FAX端末制御部25は通信端末装置3、4としてファクシミリ通信機能を有するファクシミリ（FAX）端末32をFAX回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ22に接続されている。FAX端末制御部25はFAX端末32に関する送信・受信・切断制御を行う。

【0082】

データ端末制御部26は通信端末装置3、4としてデータ通信機能を有するPCなどのデータ端末33をデータ回線を通して収容するとともに、ハイウェイスイッチ22に接続されている。データ端末制御部26はデータ端末33に関する送信・受信・切断制御を行う。

【0083】

ハイウェイスイッチ22は「 $nB+D$ 」（ $n=1\sim31$ ）チャネルの時分割多重伝送路（ハイウェイ：HW）から構成され、例えば、 2Mbps （ $64\text{Kbps} \times 32$ タイムスロットTS）の容量を有する。トランク制御部23は公衆交換網に接続されるBRIまたはPRIのISDN中継線を収容し、それぞれBチャネルの音声情報、FAX情報またはデータ（Bch情報）とDチャネルの制御情報（Dch情報）との送受信を行う。また、このトランク制御部23はハイウェイスイッチ22に直接的に接続されている。

【0084】

中央制御部24は音声端末制御部21、FAX端末制御部25、データ端末制

御部 2 6, ハイウェイスイッチ 2 2, 及びトランク制御部 2 3 をそれぞれ制御して回線交換を行う。また、中央制御部 2 4 は保守運用インタフェース部（図示省略）を通して局データの設定、解除、及び出力を行う。

【 0 0 8 5 】

（ I P 通信インタフェース装置）

次に、図 1 に示す I P 通信ネットワークシステムにおける I P 通信インタフェース装置 5, 6 としての第 4 の I P 通信インタフェース装置 4 0 は、図 7 に示すように、制御部 5 0 と、コーディック部 9 0 とを備える。制御部 5 0 及びコーディック部 9 0 はそれぞれ個別のパッケージカードまたは一枚のパッケージカードで構成され、上記 P B X 2 0 と同一筐体に I P 通信インタフェース装置 4 0 として収納される。制御部 5 0 及びコーディック部 9 0 を一枚のパッケージカードに実装して、I P 通信インタフェース装置 4 0 を構成した配置は図 3 と同一である。

【 0 0 8 6 】

制御部 5 0 はハイウェイスイッチインタフェース部（H W - I F）5 1 と、L A N インタフェース部（L A N - I F）5 2 と、C P U 内配置の信号処理部 5 3 と、内部バス 5 4 とから構成されている。この制御部 5 0 は L A N 回線を介してインターネット回線とのメディアに応じたパケット、つまり音声パケット、F A X パケットまたはデータパケットの送受信を行う。また、制御部 5 0 は P B X 2 0 のハイウェイスイッチ 2 2 及び L A N 7, 8 と接続され、コーディック部 9 0 を制御して、上記メディアに応じた情報のパケット組立及びパケット分解を行わせる。

【 0 0 8 7 】

H W - I F 5 1 はハイウェイスイッチ 2 2 のハイウェイに直接結合され、このハイウェイ（例えば、伝送速度 2 M b p s）から 6 4 K b p s の回線情報を取り出したり、6 4 K b p s の回線情報をハイウェイスイッチ 2 2 のハイウェイに挿入する。L A N - I F 5 2 は L A N 7, 8 に接続され、L A N の形態、この例では 1 0 B A S E - T または 1 0 0 B A S E - T X の L A N 回線の電気・物理インタフェースの制御を行う。信号処理部 5 3 は P B X 2 0 の回線交換網側のコネク

ション型通信とインターネット網側のコネクションレス型通信との呼の確立及び終了の呼制御信号の処理を行う。

【 0 0 8 8 】

また、上記制御部 5 0 に接続されたコーデック部 9 0 はドロップ・インサータ (TS-CNTL) 9 1 と、デュアルポートメモリ (DPRAM) 9 2 と、デジタル信号プロセッサ (DSP) から構成され符号化・復号化機能をそれぞれ有する第 1 の音声処理部 9 3 1, 第 1 の FAX 処理部 9 3 2 及び第 1 のデータ処理部 9 3 3 と、CPU 内に配置されてパケット組立・パケット分解機能をそれぞれ有する第 2 の音声処理部 9 4 1, 第 2 の FAX 処理部 9 4 2 及び第 2 のデータ処理部 9 4 3 と、内部バス 9 5 と、セレクタ 9 6 とから構成されている。このコーデック部 9 0 は上記メディアに応じた情報のパケット組立及びパケット分解を行う。

【 0 0 8 9 】

TS-CNTL 9 1 は制御部 5 0 とコーデック部 9 0 との間の内部伝送路の 6 4 K b p s のタイムスロットからの情報の取り出し、同タイムスロットへの情報の挿入を行う。DPRAM 9 2 は制御部 5 0 の信号処理部 5 3 とコーデック部 9 0 の各第 2 の処理部 9 4 1, 9 4 2, 9 4 3 との内部通信を可能にする。

【 0 0 9 0 】

第 1 の音声処理部 9 3 1 は TS-CNTL 9 1 においてタイムスロットから取り出された音声情報の連続信号をインターネット回線への音声パケットの離散信号に符号化処理する。また、第 1 の音声処理部 9 3 1 はインターネット回線からの音声パケットを音声情報の連続信号に復号化処理し、TS-CNTL 9 1 における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。

【 0 0 9 1 】

第 1 の FAX 処理部 9 3 2 は TS-CNTL 9 1 においてタイムスロットから取り出された FAX 情報の連続信号をインターネット回線への FAX パケットの離散信号に符号化処理する。また、第 1 の FAX 処理部 9 3 2 はインターネット回線からの FAX パケットを FAX 情報の連続信号に復号化処理し、TS-CNTL 9 1 における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。

【0092】

第1のデータ処理部933はTS-CNTL91においてタイムスロットから取り出されたデータの連続信号をインターネット回線へのデータパケットの離散信号に符号化処理する。また、第1のデータ処理部933はインターネット回線からのデータパケットをデータの連続信号に復号化処理し、TS-CNTL91における所定タイムスロットへの挿入を可能にする。なお、データについては、第1のデータ処理部933での符号化・復号化を行わないで、スルーさせるだけの処理を採用することもできる。

【0093】

第2の音声処理部941及び第2のFAX処理部942は対応の第1の音声処理部931及び第1のFAX処理部932をそれぞれ制御し、リアルタイムな伝送を可能にするためのRTPの付加などを含むパケット組立及びRTPの除去などを含むパケット分解処理を行う。

【0094】

第2のデータ処理部943は第1のデータ処理部933を制御し、パケット組立及びパケット分解処理を行う。

セレクタ96は信号処理部53からの切替信号を受信し、この切替信号の内容、つまり指定メディアに応じて第1の音声処理部931、第1のFAX処理部932、または第1のデータ処理部933を選択する。なお、コーデック部90はIP通信インタフェース装置40からLAN7、8への出力チャネル数の増大に応じて、増設することができる。

【0095】

上述した第4のIP通信インタフェース装置40は、HW-IF51を通してハイウェイスイッチ22のハイウェイに直接結合されているので、PBX20からはISDN中継線に收容した「トランク装置」として扱うことができる。

【0096】

(動作)

上述した構成を採る第4のIP通信インタフェース装置40において、それぞれBch情報である音声情報、伝送速度G3のFAX情報、または64Kbps

の非制限デジタルデータは、PBX 20のハイウェイスイッチ 22から制御部 50のHW-IF 51を経由して、コーディック部 90のTS-CNTL 91に入力される。

【0097】

制御部 50の信号処理部 53は、PBX 20のハイウェイスイッチ 22からHW-IF 51を経由して入力された音声情報、FAX情報またはデータに応じたメディア情報を識別し、セクタ 96に切替信号を送信する。

【0098】

セクタ 96は信号処理部 53からの切替信号を受信し、この切替信号の内容、つまり指定メディアに応じて第1の音声処理部 931、第1のFAX処理部 932、または第1のデータ処理部 933を選択する。

【0099】

一層詳細に述べると、制御部 50の信号処理部 53は、メディア情報としての伝達能力情報要素が非制限デジタルのDch信号を検出したときは、セクタ 96にHW-IF 51及びTS-CNTL 91を通して切替信号を送信する。信号処理部 53からの切替信号を受信したセクタ 96は、指定メディアに応じて第1のデータ処理部 933を選択する。また、制御部 50の信号処理部 53は、メディア情報としての伝達能力情報要素が非制限デジタルのDch信号を検出しないときは、セクタ 96に同様の経路で切替信号を送信して第1の音声処理部 931を選択させる。この処理は、IP通信インタフェース装置 40が発信側及び着信側に関わらず同一である。

【0100】

PBX 20収容のFAX端末 32からのNSF (Non Standard Facilities: 非標準機能識別信号) またはDIS (Digital Identification Signal) を信号処理部 53が検出したときは、着信側のFAX端末 32であることを識別し、セクタ 96に上記経路で切替信号を送信して第1のFAX処理部 932を選択させる。このとき信号処理部 53は「切替」Dch信号をLAN回線を通して対向する発信側のIP通信インタフェース装置 40に送信する。

【0101】

また、信号処理部 5 3 は F A X 手順の正常終了、F A X 切替後のタイムアウト、または D C N 信号（ディスコネクト信号）を検出したときには、セクタ 9 6 に切替信号を送信して第 1 の F A X 処理部 9 3 2 に換えて第 1 の音声処理部 9 3 1 を選択させ、「切替」D c h 信号を L A N 回線を通して対向する発信側の I P 通信インタフェース装置 4 0 に送信する。

【0102】

対向の I P 通信インタフェース装置 4 0 から送信された「切替」D c h 信号を L A N 回線を通して受信したとき、信号処理部 5 3 はセクタ 9 6 に切替信号を送信して第 1 の F A X 処理部 9 3 2 を選択させる。

【0103】

T S - C N T L 9 1 に入力された音声情報は、セクタ 9 6 を通して第 1 の音声処理部 9 3 1 において、符号化されるとともに、I T U - T G. 7 2 9 A n n e x A / B に準拠して音声圧縮及び無音圧縮が施される。圧縮処理の施された符号化音声情報は、第 1 の音声処理部 9 3 1 から内部バス 9 5 を通して第 2 の音声処理部 9 4 1 に送信される。第 2 の音声処理部 9 4 1 は符号化音声情報に R T P を付加して、音声パケットを構成する。この音声パケットは D P R A M 9 2 及び内部バス 5 4 を通して制御部 5 0 の信号処理部 5 3 に転送される。

【0104】

信号処理部 5 3 はコーデック部 9 0 から受信した音声パケットに U D P ヘッダ及び I P ヘッダを付加した音声パケットを構成し、L A N - I F 5 2 を通して L A N 7, 8 に接続されている L A N 回線に送出する。L A N 回線及びインターネット回線上の音声パケットのフレーム構成は図 4 (A) に示すとおりである。

【0105】

一方、L A N 回線から I P 通信インタフェース装置 4 0 に音声パケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、B c h の音声情報として、P B X 2 0 のハイウェイスイッチ 2 2 に送信される。

【0106】

T S - C N T L 9 1 に入力された F A X 情報は、セクタ 9 6 を通して F A X

端末間信号を自動検出した第1のFAX処理部932において、FRF. 11のFax Relay方式に従って符号化される。符号化FAX情報は、第1のFAX処理部932から内部バス95を通して第2のFAX処理部942に送信される。第2のFAX処理部942は符号化FAX情報にRTPを付加して、FAXパケットを構成する。このFAXパケットはDPRAM92及び内部バス54を通して制御部50の信号処理部53に転送される。

【0107】

信号処理部53はコーデック部90から受信したFAXパケットにUDPヘッダ及びIPヘッダを付加したFAXパケットを構成し、LAN-IF52を通してLAN7, 8に接続されているLAN回線に送出する。LAN回線及びインターネット回線上のFAXパケットのフレーム構成は図4(B)に示すとおりである。

【0108】

一方、LAN回線からIP通信インタフェース装置40にFAXパケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、BchのFAX情報として、PBX20のハイウェイスイッチ22に送信される。

【0109】

TS-CNTL91に入力されたデータは、セレクタ96を通して第1のデータ処理部933において、必要に応じて符号化される。符号化データは、第1のデータ処理部933から内部バス95を通して第2のデータ処理部943に送信される。第2のデータ処理部943は符号化データに基づいて、データパケットを構成する。このデータパケットはDPRAM92及び内部バス54を通して制御部50の信号処理部53に転送される。

【0110】

信号処理部53はコーデック部90から受信したデータパケットにTCPヘッダ及びIPヘッダを付加したデータパケットを構成し、LAN-IF52を通してLAN7, 8に接続されているLAN回線に送出する。LAN回線及びインターネット回線上のデータパケットのフレーム構成は図4(C)に示すとおりであ

る。

【0111】

一方、LAN回線からIP通信インタフェース装置40にデータパケットが入力された場合は、上記と逆の処理手順を経て、パケット分解及び復号化が行われ、Bchのデータとして、PBX20のハイウェイスイッチ22に送信される。

【0112】

なお、このIP通信インタフェース装置40におけるTTC標準JT-Q.931メッセージに対応する呼制御信号などの制御情報(Dch情報)の送受信処理は、上述した第1のIP通信インタフェース装置40と同一である。

【0113】

上述した第4のIP通信インタフェース装置40の機能について更に詳述する。なお、以下に説明する機能は上記第1、第2及び第3のIP通信インタフェース装置40についても同一である。

【0114】

制御部50の信号処理部53は、PBX20からのDchの制御情報としての呼制御信号(Q.931メッセージ)の着番号情報要素から相手番号、つまり事業所番号及び内線番号を抽出し、事業所番号から接続先(宛先)IPアドレスを決定してアドレスマッピングを行い、決定したIPアドレスをIPヘッダに設定し、LAN-IF52を通してLAN回線に音声パケット、FAXパケット、またはデータパケットを送信する。一方、制御部50の信号処理部53は、LAN-IF52を通してLAN回線から音声パケット、FAXパケット、またはデータパケットを受信したときは、呼制御信号の着番号情報要素のみを抽出し、つまり発信処理とは異なりアドレスマッピングを行うことなく、着信処理を行う。

【0115】

また、音声パケットの優先制御が可能なルータ9,10を配置したインターネット網11に対しては、制御部50の信号処理部53はIPヘッダのTOS(Type of Service)フィールドを使用して、ルータ9,10に優先度の指示を行い、音声パケットの伝送遅延を抑制する。

【0116】

コーデック部 9 0 の第 2 の音声処理部 9 4 3 において、蓄積済音声パケット情報の範囲内で再生の順序を入れ替える。即ち、第 2 の音声処理部 9 4 3 は、到着した音声情報の送信順序が蓄積済音声パケット情報の送信順序より若い場合は、送信順序の若い順に音声情報を復号再生させる。

【0 1 1 7】

P B X 2 0 からインチャネルバンドで受信した P B (Push Button) 信号をコーデック部 9 0 で一旦受信して符号化し、制御部 5 0 の信号処理部 5 3 で呼制御信号 (Q. 9 3 1 メッセージ) に変換して L A N 回線に送信する。インターネット回線を通して L A N 回線から制御情報で P B 信号が入力された場合、制御部 5 0 はコーデック部 9 0 の第 1 の音声処理部 9 3 1 でアナログ P B 信号に変換させる。復号化 P B 信号は第 1 の音声処理部 9 3 1 から T S - C N T L 9 1 及び H W - I F 5 1 を通して P B X 2 0 に送信される。

【0 1 1 8】

信号処理部 5 3 を配置した制御部 5 0 の C P U のソフトウェア及び第 2 の処理部 9 4 1, 9 4 2, 9 4 3 を配置したコーデック部 9 0 の C P U のソフトウェアは、T C P / I P (1 0 B A S E - T または 1 0 0 B A S E - T X) の L A N ポートを介して外部からダウンロード可能である。

【0 1 1 9】

さらに、T C P / I P (1 0 B A S E - T または 1 0 0 B A S E - T X) の L A N ポートを介して外部から統計情報、障害情報及びトレース情報が取得可能である。つまり、I P 通信インタフェース装置 4 0 においては、運用状態の把握及び回線有効活用の実現のために、送受信パケット数及び回線使用率などの各種統計情報を収集し、蓄積する。また、運用中に発生した障害情報を収集し、ログとして蓄積する。送受信データをモニタするために、呼制御信号などの D c h 情報をトレース情報として収集、蓄積する。

【0 1 2 0】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、電話網（回線交換網）とインターネット網（I P パケット交換網）との間で通信プロトコル変換を行うゲートウェイ機

能を有し、電話網とインターネット網との相互間での音声通信及びデータ通信などの各種通信を実現する I P 通信インタフェース装置を提供することができる。

【0 1 2 1】

また、本発明によれば、電話網とインターネット網との相互間での各種通信を実現するために既存の電話網、特に企業内電話網に容易に導入することが可能な I P 通信インタフェース装置を提供することができる。

【0 1 2 2】

この結果、本発明によれば、経済的な回線交換機及び I P 通信ネットワークシステムを構築することが容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施の形態の I P 通信ネットワークシステムの構成を示すブロック図。

【図 2】 構内交換機及び I P 通信インタフェース装置の第 1 の構成例及び動作を説明するためのブロック図。

【図 3】 パッケージカード化された I P 通信インタフェース装置における制御部及びコーディック部の配置状態を示す図。

【図 4】 I P 通信インタフェース装置と L A N 回線（インターネット回線）との間で送受信される各種パケットのフレーム構成を説明するための図。

【図 5】 構内交換機及び I P 通信インタフェース装置の第 2 の構成例及び動作を説明するためのブロック図。

【図 6】 構内交換機及び I P 通信インタフェース装置の第 3 の構成例及び動作を説明するためのブロック図。

【図 7】 構内交換機及び I P 通信インタフェース装置の第 4 の構成例及び動作を説明するためのブロック図。

【符号の説明】

- 1, 2, 2 0 構内交換機（P B X）
- 3, 4 通信端末装置
- 5, 6, 4 0 I P 通信インタフェース装置
- 7, 8 L A N

9, 1 0 . ルー タ

1 1 インター ネット 網

3 1 音声 端末

3 2 F A X 端末

3 3 デー タ 端末

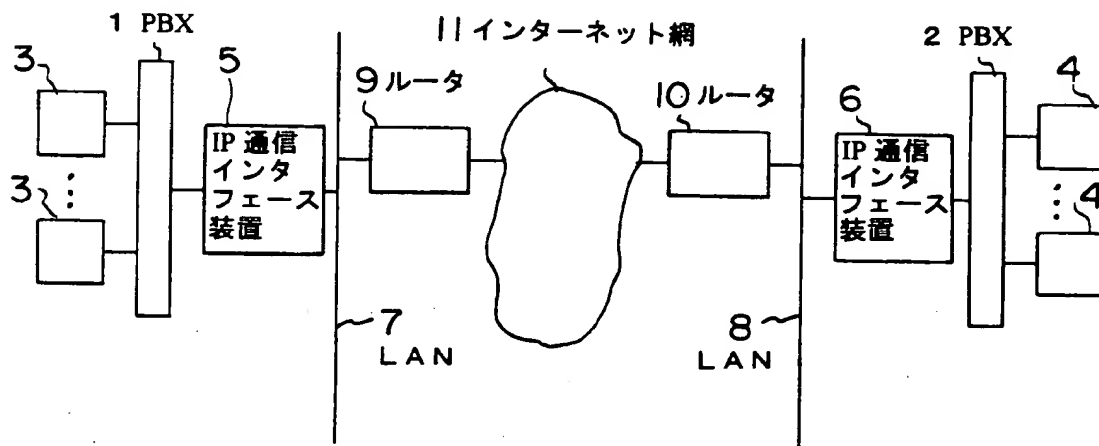
5 0 制御 部

6 0, 7 0, 8 0, 9 0 コーディ ック 部

【書類名】 図面

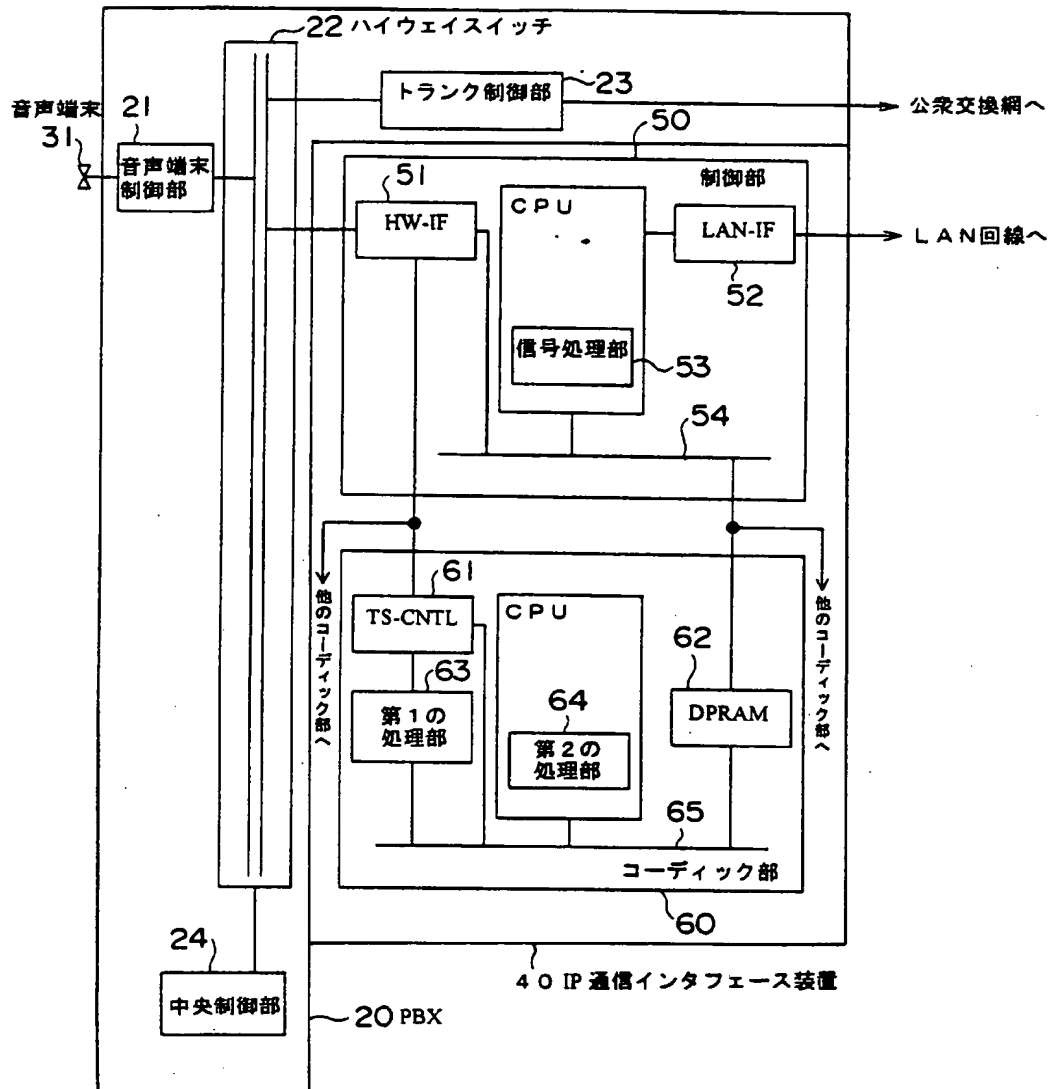
【図 1】

本発明の一実施の形態の I P 通信ネットワークシステムの構成を示すブロック図



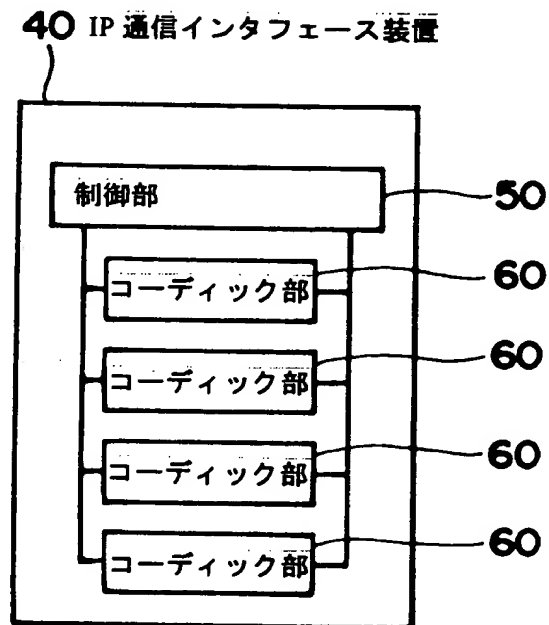
【图 2】

構内交換機及びＩＰ通信インタフェース装置の第１の構成例及び動作を説明するためのブロック図



【図 3】

パッケージカード化された I P 通信インタフェース装置
における制 御部及びコーディック部の配置状態を示す図



【図 4】

IP 通信インタフェース装置と LAN 回線（インターネット回線）との間で送受信される各種パケットのフレーム構成を説明するための図

音声パケット

(A)



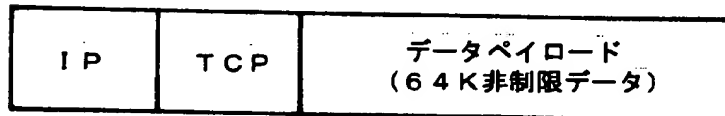
FAX パケット

(B)



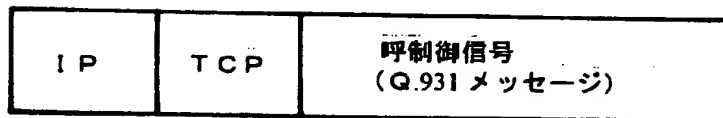
データパケット

(C)



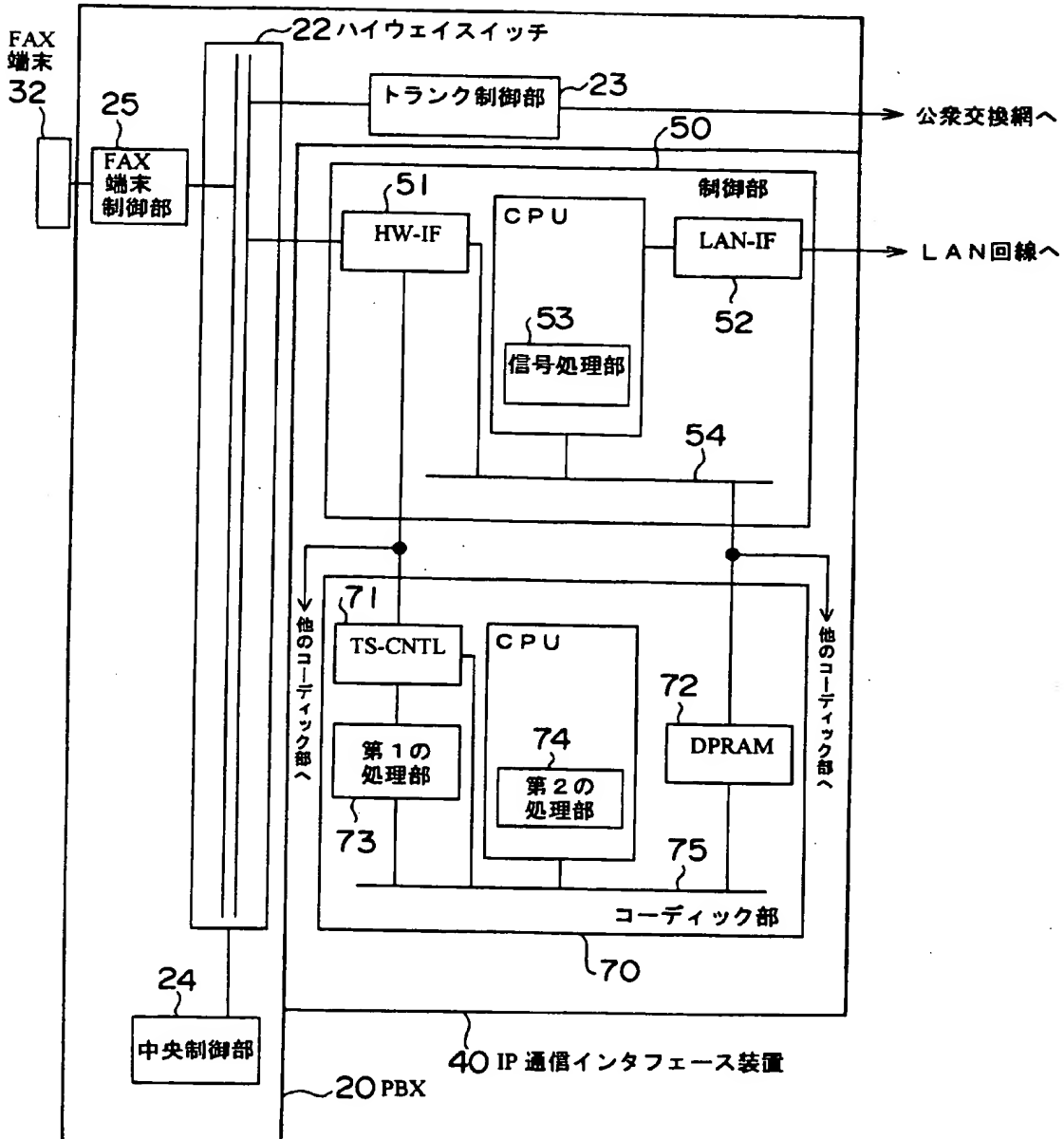
制御情報パケット

(D)



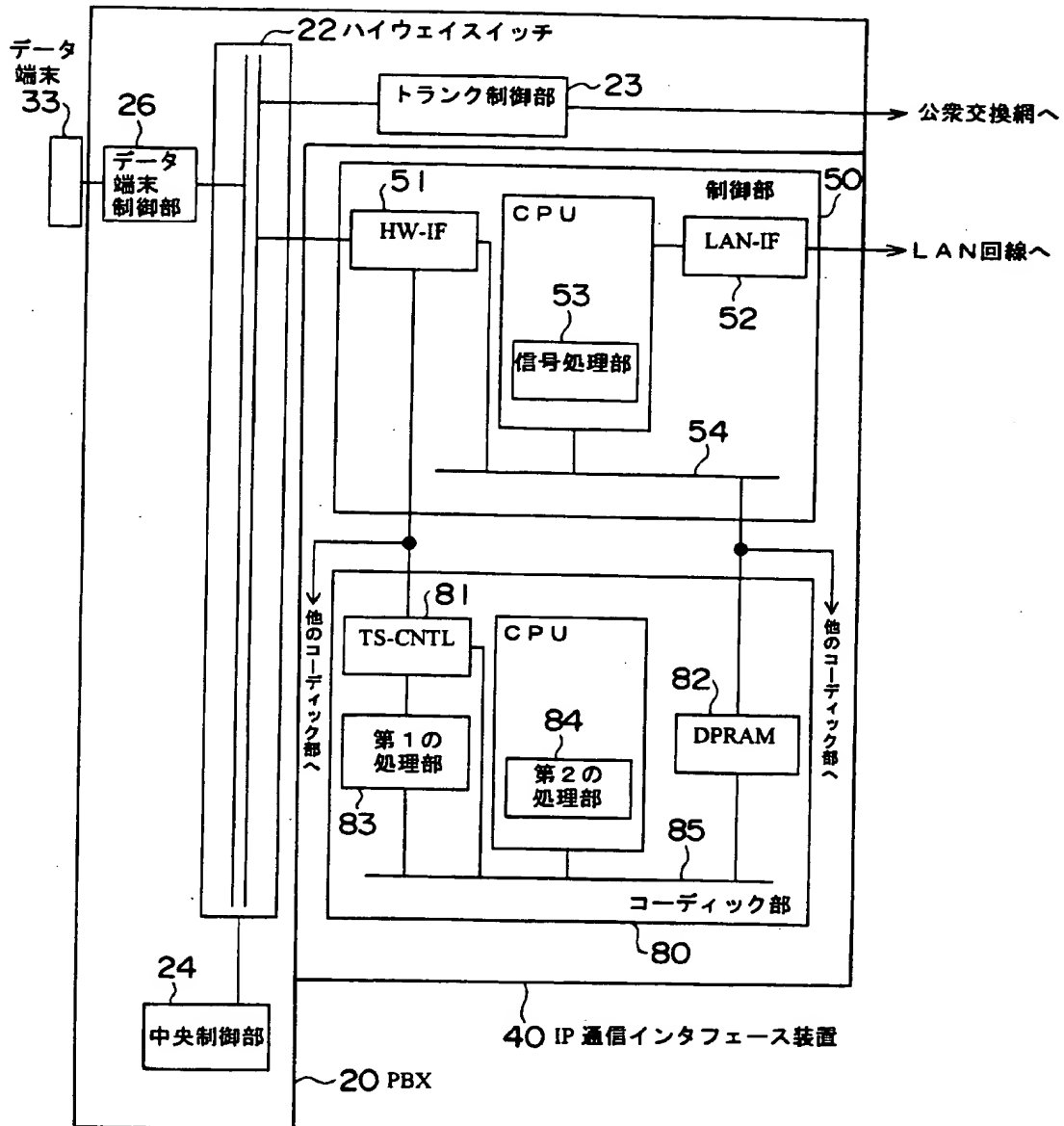
【図 5】

構内交換機及び IP 通信インタフェース装置の第 2 の構成例及び動作を説明するためのブロック図



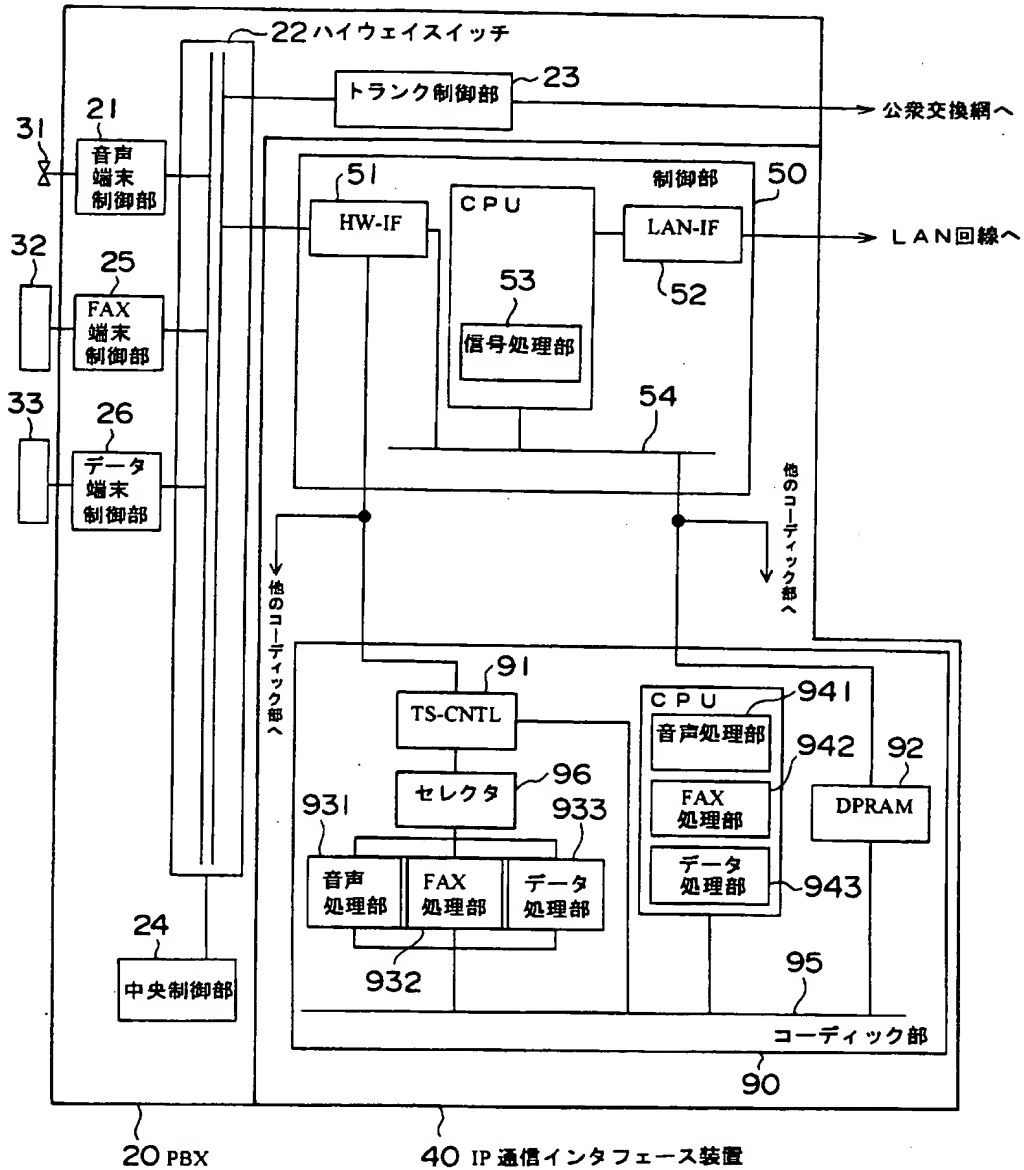
【図 6】

構内交換機及びIP通信インタフェース装置の第3の構成例及び動作を説明するためのブロック図



【図 7】

構内交換機及びIP通信インタフェース装置の第4の構成例及び動作を説明するためのブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電話網（回線交換網）とインターネット網（I P パケット交換網）との相互間での音声通信及びデータ通信などの各種通信を実現する I P 通信インタフェース装置を提供する。

【解決手段】 第 1 及び第 2 の接続手段 5 1, 5 2 と；回線交換網から前記第 1 の接続手段に入力される B チャンネル情報としての第 1 のメディア対応情報を符号化するとともに、L A N から前記第 2 の接続手段に入力される第 2 のメディア対応情報をパケット分解したパケット分解メディア対応情報を復号化し、復号化メディア対応情報を前記第 1 のメディア対応情報として前記回線交換網に送出するために前記第 1 の接続手段に送信する第 1 の処理手段 9 3 1, 9 3 2, 9 3 3 と；前記第 1 の処理手段で符号化された符号化メディア対応情報をパケット組立するとともに、前記第 2 のメディア対応情報をパケット分解し、前記パケット分解メディア対応情報として前記第 1 の処理手段に送信する第 2 の処理手段 9 4 1, 9 4 2, 9 4 3 と；前記第 2 の処理手段でパケット組立されたパケット組立メディア対応情報に予め定められたヘッダ情報を付加した前記第 2 のメディア対応情報を生成し、前記第 2 の接続手段を通して前記 L A N に送出させるとともに、前記第 2 の接続手段に入力された前記第 2 のメディア対応情報に付加されている前記ヘッダ情報を除去し、前記第 2 の処理手段に送信する第 3 の処理手段 5 3 とを備える。

【選択図】 図 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 2 2 3]

1. 変更年月日 1 9 9 6 年 3 月 2 6 日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号

氏 名 富士通株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [3 9 1 0 1 0 2 0 8]

1. 変更年月日 1 9 9 7 年 7 月 3 0 日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都新宿区西新宿 6 丁目 1 2 番 1 号

氏 名 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社